

コミュニティ・スクールだより

第11号



名張市教育委員会事務局発行
令和元（2019）年6月18日

コミュニティ・スクール

8校が新たにスタート！

本年4月1日付で、新たに8校が学校運営協議会設置校であるコミュニティ・スクールとしてスタートを切りました。

新たに学校運営協議会を設置し、5月に第1回の学校運営協議会を開催した学校は、次の3校です。

15日
(水)

桔梗が丘
南小学校



校長から学校経営方針についての説明を受けた後、協議会委員は、落ち着いて熱心に授業を受ける子どもたちの様子を参観しました。その後の協議では、「先生が元気にやってくることが一番。サポートしていきたい。」と心強いご意見をいただきました。

30日
(木)

桔梗が丘小学校



協議会委員は、授業参観後、図書ボランティアによる人形劇を観覧しました。協議では、登下校・放課後の事故防止、道いっばいに広がる等の通学のマナー改善のためにも、見守りを充実していく必要がある等、熱心な議論が交わされました。

30日
(木)

桔梗が丘東小学校

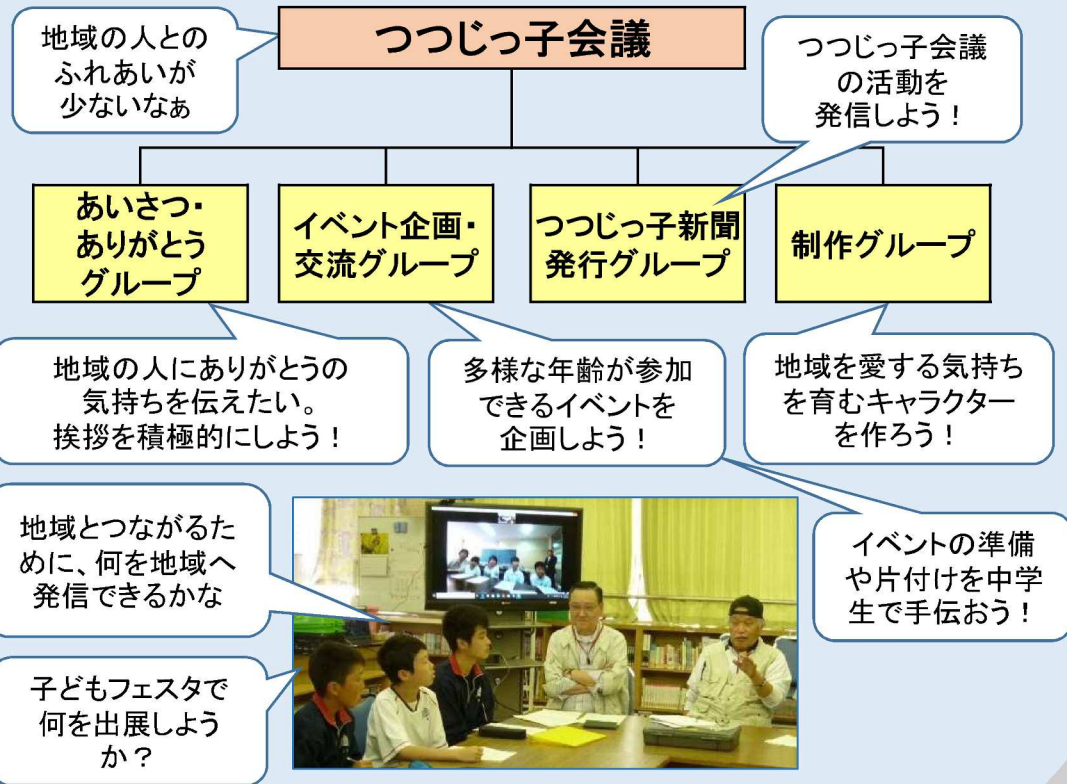


昨年度から「地域づくり組織」「子どもを守る連絡会」「あそびつくすin東小実行委員会」「学校支援ボランティア」「PTA組織」「放課後児童クラブ」等の代表が、準備委員会の中で協議をすすめてきました。「みんなでつくる みんなの桔梗が丘東小学校」を合言葉に、それぞれの組織が協働し、子どものために、取組を充実させていきます。

コミュニティ・スクール紹介 part.1 <南中学校区>

地域貢献の一環としての【つつじっ子会議】

開設当初は2名だったメンバーが、3年目となる今年は、26名まで増えました。4月に実施したつつじっ子会議では、地域の課題について意見を出すとともに、さらに良くするために自分たちが関わっていることや提案について話し合いました。今年は、4つの組織を作って、地域と連携協働した取組を繰り広げていきます。



テレビ会議システムを通じて、つつじが丘小学校の児童も参加しました。

コミュニティ・スクールだより

第12号

名張市教育委員会事務局発行
令和元（2019）年7月1日

コミュニティ・スクール

8校が新たにスタート！パートⅡ

前号に続き、本年度、新たに学校運営協議会を設置し、6月に第1回学校運営協議会を開催した学校の様子をお知らせします。

4日
(火)



薦原小学校

自然が身近に感じられる素晴らしい環境の下、地域の皆さんの協力で、様々な体験活動が実現しています。今後もこの環境を生かしたE S D学習に取り組むことを重点目標の一つとしていること等、教育方針について校長から説明がありました。

また、子どもの安全確保については、具体的危険箇所等も上げながら対策を協議しました。

6日
(木)



美旗小学校

会長・副会長に続き、ボランティアコーディネーターが選任されました。ボランティアコーディネーターは、学校と地域づくり組織とのパイプ役となり、学校の担当教員と連携しながら活動の調整役・推進役となる方です。今後、校外学習への支援や古墳まつりへの児童参加など学習支援や地域貢献への取組を充実させていくことが確認されました。

7日
(金)

名張中学校



「挨拶・清掃・合唱」という新たな伝統づくりに取り組む生徒・教職員の姿をDVDにて鑑賞しました。協議では、学力向上、学習支援、校区内の危険箇所について委員より意見が出されました。また、校長より、学校における「働き方改革」についての取組が提案され、保護者宛文書を連名で発送することとなりました。

コミュニティ・スクール紹介 part.2 <名張小学校>

名張小学校【学校運営協議会組織】

名張小学校のコミュニティ・スクールは、本年度4月設置。設置当初から、3つの部会を組織し、学校運営協議会委員は、いずれかの部会に所属しています。

実働部隊は学校支援部。
PTA行事も含めて
地域で支援を！



2つの地域づくり組織が
連携！



名張小学校
学校運営協議会

学校支援部

◇地域のネットワークを
生かした教育支援

運営参画部

◇めざす子どもの姿の
共有

地域協働部

◇地域と子どもが
共に育つ場づくり

意見交換だけでは進んでいかない。
次回までに各団体で協議し、
持ち寄ろう！

将来のまちづくりに
関わってもらえるような
子どもの育成を！

12日
(水)



すずらん台
小学校

和気あいあいとした雰囲気の中、学校運営協議会がスタートしました。なりたい自分の実現に向け、人間性豊かに人とのつながりを大切にする児童の育成をめざした教育方針が説明され、承認を受けました。また、運動会・マラソン大会等の学校行事の実施方法について校長より提案があり、協議会委員から意見が出されました。今後検討されます。

15日
(土)



名張小学校

学校経営計画・教育課程の編成について承認を得た後、コミュニティ・スクール推進計画について、各部会で話し合いをしました。名張小学校のコミュニティ・スクールは、運営参画部・地域協働部・学校支援部の3つの部会で組織されています。次回（7月開催）までに、各団体（地域づくり組織・PTA等）で協議したものを持ち寄ることになりました。

コミュニティ・スクールだより

第13号

名張市教育委員会事務局発行
令和元（2019）年8月1日



小中一貫コミュニティ・スクール 推進協議会開催

7月4日（木）小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会を開催しました。この協議会は、名張市における小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進のため、推進の方向性を検討するとともに、各中学校区の取組の進捗状況や課題等について情報共有を図る目的で開催しています。

小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの推進状況について委員の皆さんからご意見をいただきました。



その後、文部科学省 貝ノ瀬 滋 視学委員から、コミュニティ・スクールを基盤として体制構築されてきた三鷹市の小中一貫教育のあゆみについての講話と名張市の取組への助言をいただきました。



宮崎市からの視察 <7月17日・18日・19日>

名張市におけるコミュニティ・スクール及びまちづくり組織の視察に、宮崎市から職員2名が来られました。宮崎市は今後、コミュニティ・スクールを市内全小中学校に導入するとともに、まちづくり組織についても体制構築を図るということです。

17日は、市役所で市地域環境部と教育委員会から取組説明、18日午前には、南中学校区と錦生赤目小学校を訪問していただき、学校長からコミュニティ・スクールの取組説明をさせていただきました。

午後からは、赤目まちづくり委員会、また、翌19日は、美旗まちづくり協議会の取組について視察していただきました。

宮崎市がめざす「宮崎市ならではのコミュニティ・スクール」構想など、貴重な話を聞かせていただき、意見交換の場とさせていただくことができました。



コミュニティ・スクール紹介 part.3 <錦生赤目小学校>

錦生赤目小学校 学校運営協議会の推進目標

すべては、子どもたちのために

～学校・家庭・地域が協働して子どもを育てる～

「すべては、子どもたちのために～学校・家庭・地域が協働して、子どもを育てる～」を推進目標とし、保護者および子どもたちの生活基盤である赤目地区と錦生地区の皆様方の参画により、子どもたちのことを基軸に話し合い、それを学校教育に活かしています。

学校運営への参画

- ・校長の提案する「学校経営方針」を承認します。
- ・学校評価を効果的に活用し、改善を図っていきます。



学校支援の充実

- ・地域のネットワークを生かし、より多くの地域住民や保護者の参画による教育支援活動を展開し、子どもの豊かな体験や学びにつなげていきます。
- ・学校の様々な活動を地域ボランティアが支援することで、教員が子どもと向き合う時間の確保につなげていきます。

学校・保護者・地域がいっしょになって、学校を良くしていこうと活動しているこのコミュニティ・スクールのことを、もっと保護者に知ってもらいたい！

場を捉えて積極的に発信していこう！

地域貢献への場づくり

- ・子どもが地域行事やボランティア活動へ参加することにより、地域の大人と触れ合う機会や、多様な経験をする機会を増やしていきます。
- ・学校が地域住民のよりどころとなり、大人同士のきずなを深めていきます。



地区運動会に子どもたちが参画できる場をつくろう

地区夏まつりで子どもたちにスタッフとして活動してもらったらどうか

今年度は、「参加」から「参画」へ

子どもたちが地域貢献できる場を 地域が作っていこう！

コミュニティ・スクールだより

第14号

名張市教育委員会事務局発行
令和元（2019）年10月15日



コミュニティ・スクール

推進研修会を開催しました

9月26日（木）名張市武道交流館いきいきにて、「コミュニティ・スクール推進研修会」を開催しました。



研修会では、美旗小学校学校運営協議会の室谷芳彦会長に美旗小学校のコミュニティ・スクールの取組を、南中学校の西山尚吾校長に南中学校区のコミュニティ・スクールの取組を発表いただきました。

その後、「コミュニティ・スクールの充実に向けた方策」と題して、文部科学省総合教育政策局コミュニティ・スクール推進員であり山口県教育委員会・山口地域連携教育アドバイザーの木本育夫（このもといくお）先生よりご講演いただきました。

当日は、学校運営協議会委員、保護者、学校教職員ら159名の参加がありました。



参加者の声

コミュニティの大切さを認識することができました。少子化の今、地域のコミュニティを活発にすることで、子ども達の生きる力も育つし、100年時代を活発に高齢者も過ごせるwin winな活動だと思った。

自分の学校のCSの在り方を立ち止まって改めて考える良い機会となりました。今後、学校のCSがどう進んでいったら良いのかのヒントをもらいました。

木本さんの話、すごく良かったです。学校運営協議会委員がなんであるのかが分かりました。まだまだ子育て世代なので、学校運営協議会委員で参画させてもらいたいと思います。

コミュニティ・スクール紹介 part.4 <美旗小学校>

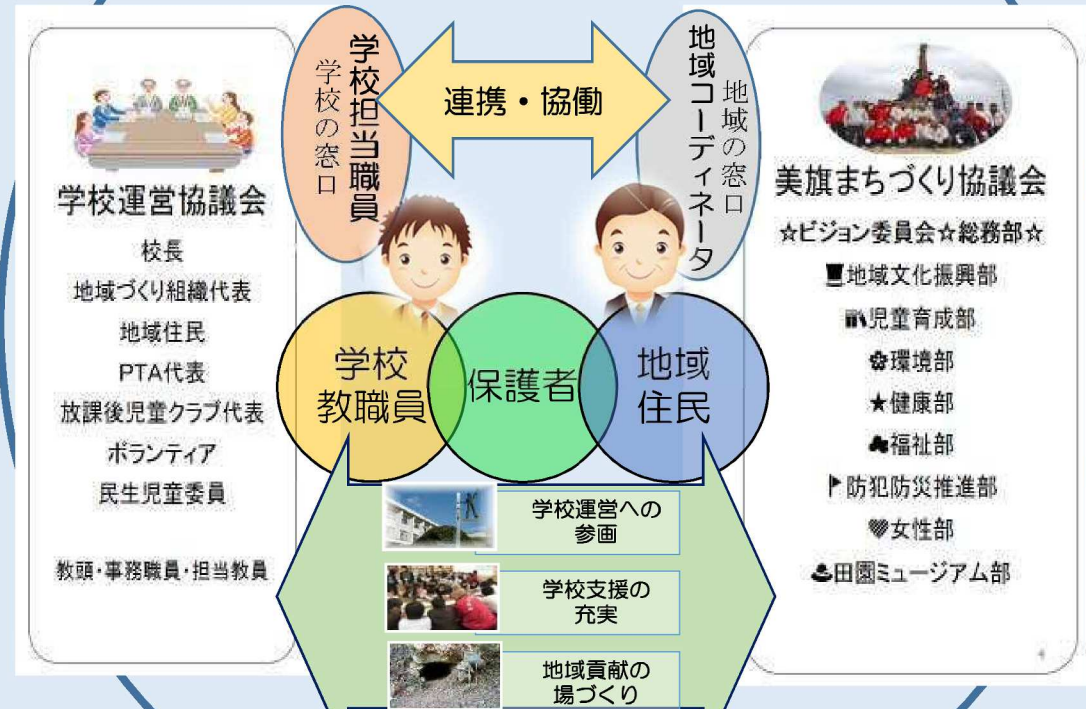
学校と地域が連携を密にとれるように、地域の窓口<地域コーディネータ>と学校の窓口<担当教員>を配置しました。

今後、「美旗ならではの地域学習」「学習支援」「古墳まつりへの参画」等の活動を充実させていきます。

美旗小学校コミュニティ・スクール

めざす子ども

- ☆ 自分の考えや夢をもち、主体的に学び続ける子
- ☆ めあてをもって取り組み、最後までやりぬく子
- ☆ なかまとつながり、支え合って共に生きていこうとする子



美旗ならではの地域学習

美旗古墳群
火縄
観阿弥創座の地
美旗メロン・ぶどう

古墳まつりへの参画



学習支援

コミュニティ・スクールだより

第15号

名張市教育委員会事務局発行
令和元（2019）年12月20日



文部科学大臣表彰受賞！ ～百合小こどもクラブ・ほめほめ隊～

青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会では、子どもたちの健やかな成長を支えるさまざまな取組を教育文化部会で企画・実施しています。その活動が認められ、この度文部科学大臣表彰を受賞しました。この賞は、地域全体で次世代を担う子どもたちを育成するために、地域と学校が連携・協働して行う「地域学校協働活動」推進に対して贈られる賞で、令和元年12月2日に文部科学省講堂で授賞式が行われました。

百合小こどもクラブは、放課後子ども教室の一環として、平成20年度から名張市から委託を受け実施しています。子どもたちへ体験を通した学びを提供し、また、市民センターが子どもたちの居場所となるように取り組んでいます。活動プログラムには、百合が丘地域を探求する、「オリエンテーリング」をはじめ、市民センターでのキャンプや小学校の長い廊下を利用した「巻きずし作り」など様々なものがあります。



百合が丘小学校学習支援「ほめほめ隊」は、平成22年度より、地域づくり協議会の教育文化部会の取組として位置づけられ、多くの地域ボランティアが学校支援に取り組んでいます。

卒業生がまちづくり活動へ参画

小学生の頃、放課後子ども教室に参加したり、「ほめほめ隊」の見守りを受けて育った子どもたちが、中学・高校へ進学後に、「ジュニアサポーター」として放課後子ども教室の運営をサポートしています。

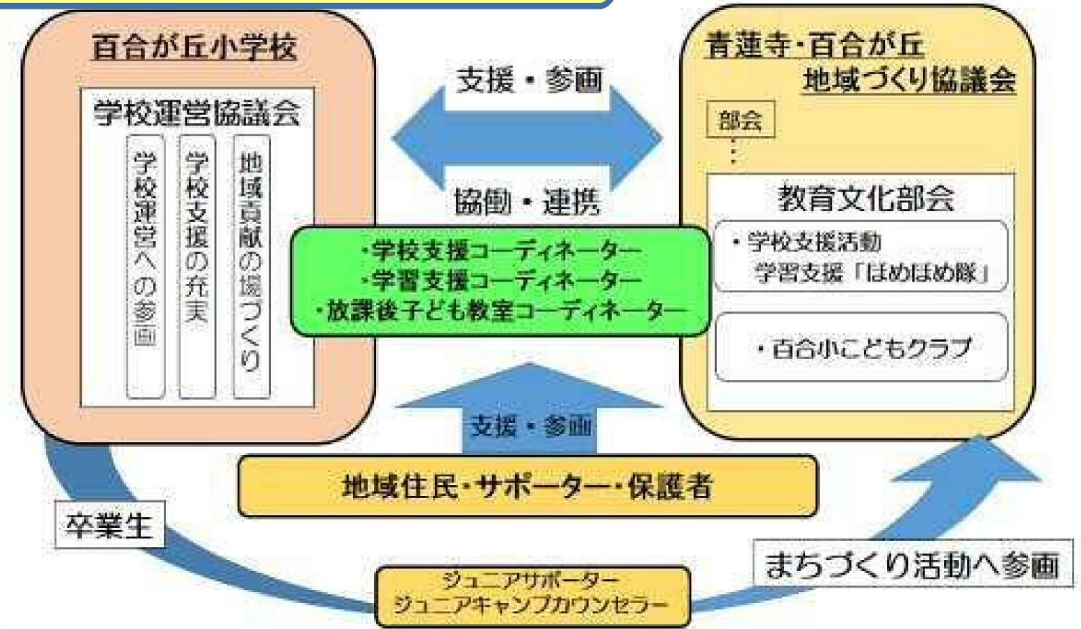


卒業生は、その他にも地域活動や地域イベントの企画・運営に携わるなどまちづくり活動にも参加し、地域貢献を行っています。

コミュニティ・スクール紹介 part.5 <百合が丘小学校>

学校・保護者・地域が連携する「三位一体会議」を発展させる形で、学校運営協議会を組織しています。「ほめほめ隊」による学校支援、地域貢献につながる「百合小こどもクラブ」等の継続した取組により、卒業生がまちづくり活動へ参画していくという好循環が生まれてきています。

百合が丘小学校コミュニティ・スクール



学校支援

- ☆「あいさつ運動」「8・3運動」
- ☆学習支援「ほめほめ隊」
- ☆読み聞かせ・野菜づくり・米づくり・ぶどう学習・クラブの指導
- ☆下校見守り活動

地域貢献

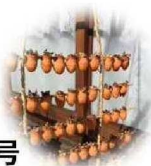
- ☆「百合小こどもクラブ」
- ☆シニアクラブの方々へのお手紙（運動会の案内状）
- ☆感謝の会（六年生を送る会）



コミュニティ・スクールだより

第16号

名張市教育委員会事務局発行
令和2（2020）年11月24日



コミュニティ・スクール

梅が丘小学校・桔梗が丘中学校・北中学校
新たにスタート！

本年度に学校運営協議会設置校であるコミュニティ・スクールとしてスタートを切った学校が、第1回の学校運営協議会を開催しました。これにより、市内全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなりました。

10/16
(金)

梅が丘
小学校



4月にコミュニティ・スクールとなりました。第1回の学校運営協議会を1学期中に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月に延期して開催しました。当日は、委員の皆さんに会議の前に児童の縦割り班掃除と授業を見ていただきました。

11/20
(金)

桔梗が丘
中学校



校区再編により、蔵持小・桔梗が丘小・桔梗が丘南小・桔梗が丘東小の卒業生が通う中学校となりました。コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進を目指し、学校運営協議会も、4つの小学校の学校運営協議会から1名ずつの代表が入り組織しています。今後、学校と保護者・地域の協働の在り方について熟議していく予定です。

11/20
(金)

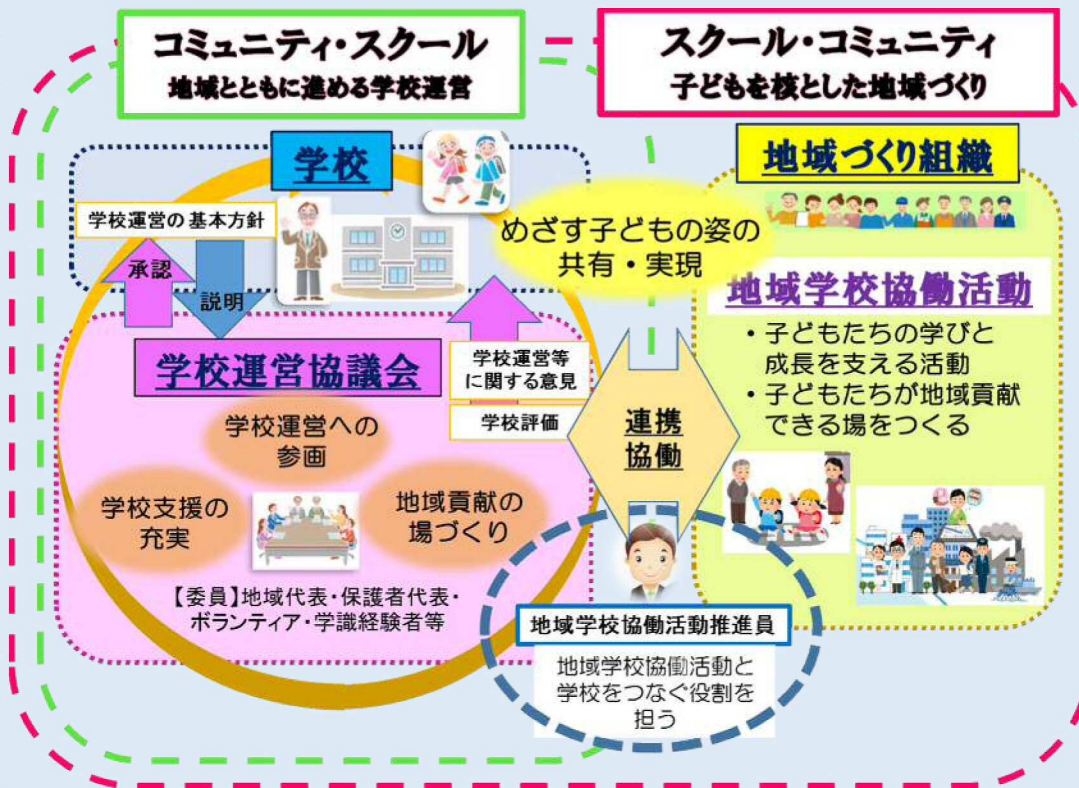
北中
学校



「生徒一人ひとりを大切にする学校」を目指す学校像の一つとして学校運営を行っています。制服のブレザーへの移行もその一つです。また、創立40周年を迎え、北斗会を中心に、中庭の整備や生徒の部活動等への資金援助等、様々な支援を実施していただきました。今後、コミュニティ・スクールとして、学校支援の充実、地域貢献の場づくりに向けて、地域づくり組織と協働し取り組んでいきます。

コミュニティ・スクールから スクール・コミュニティへ part. 1

「スクール・コミュニティ」とは？



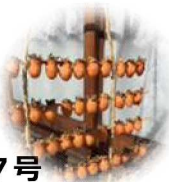
スクール・コミュニティとは、子どもを核とした地域づくりのことで、地域づくり組織等では、これまでから、子どもの健やかな育成を目指した様々な活動を実施していただいています。スクール・コミュニティは、これら子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動(地域学校協働活動)を学校運営協議会と協働して、より充実していこうとする仕組みです。地域学校協働活動を学校運営協議会と連携・協働しながら実施し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを持続発展させていこうとする子どもを育成し地域の活性化を目指します。

★次回テーマは＜「地域学校協働活動」とは＞です★

コミュニティ・スクールだより

第17号

名張市教育委員会事務局発行
令和2（2020）年12月1日



薦原地域×薦原小学校 スクール・コミュニティ 地域のシンボルマークをデザイナーと一緒に作ろう！

子どもを核とした地域づくりを目指し、薦原地域づくり委員会と薦原小学校が連携・協働する事業として、同小を卒業し同地域在住のデザイナーと子どもたちが地域のシンボルマークづくりに取り組みました。

この取組を通じて、子どもたちが地域に愛着を感じ、未来の地域づくりの人材育成につなげるとともに、デザイナーという職業について学ぶキャリア教育の一環としてのねらいも持っています。

授業は、11月18日（水）と20日（金）の2日に分けて行われ、子どもたちはデザイナーからの「薦原といえば？」という投げかけをヒントに、一人ひとりオリジナルのシンボルマークを作りました。今後、子どもたちのアイデアを参考にデザイナーが薦原のシンボルマークを作成し、2学期終業式にてお披露目され、その後は、薦原地域で広く活用される予定です。



コミュニティ・スクールから スクール・コミュニティへ part. 2

「地域学校協働活動」とは？

地域学校協働活動とは、「子どもを核とした地域づくり」を目指し、地域住民・保護者等の参画を得て実施する、子どもたちの学びと成長を支える活動や地域貢献活動のことです。

地域学習・職場体験学習

- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする活動。
- ◆地域の産業についての職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習等。



地域の行事等への参画

- ◆地域の行事、イベントへのボランティア参加・企画からの参画。
- ◆伝統行事での伝統文化・芸能の発表。
- ◆地域の防災訓練への参画等。



地域未来塾

- ◆中学生等を対象に、教員OBや高校生・大学生等などの地域住民の協力によって行う学習支援活動。

学校に対する様々な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、本の読み聞かせ、授業補助や部活動の支援、企業等の教育プログラムの提供等。

放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後や休日等に行う、学習や体験・交流といった様々な活動。

家庭教育支援活動

- ◆家庭教育について、保護者が学び合う機会づくり等。

★次回テーマは「学校と地域づくり組織の協働①」です★

コミュニティ・スクールだより

第18号

名張市教育委員会事務局発行
令和2(2020)年12月15日

めざす学校像の具現化に向け

生徒と学校運営協議会委員が懇談

名張中学校

11月21日(土)、めざす学校像の実現に向けて、名張中学校の生徒と学校運営協議会委員が懇談しました。

懇談には、生徒6名が代表として参加し、学校の様子を紹介、頑張っていること等話をした後、学校運営協議会委員と、「どの子ども生き生きと輝ける学校」「何気ない毎日が幸せと感ずることができる学校」の実現のためにできること、地域の方に支援してほしいことについて意見交換を行いました。

懇談の後の協議会では、生徒から出された意見を踏まえ、今後の方策について話し合われました。



生徒が市指定避難所の設営に協力

～総合防災訓練～

北中学校

市の総合防災訓練が行われた11月21日(土)、市指定避難所の北中学校で、生徒代表7名が、地域の方々と共に避難所設営に取り組みました。

竹と毛布・ロープを用いた簡易担架づくりや凝固剤を使った簡易トイレの実演では、モデルとなり活躍しました。



コミュニティ・スクールから スクール・コミュニティへ part.3

「学校と地域づくり組織等との協働①」

箕曲地域づくり委員会・箕曲市民センター ×箕曲小学校・箕曲小学校PTA



箕曲小学校では、コミュニティ・スクール導入以降、保護者・地域・学校がめざす子どもの姿を共有し、実現に向けた熟議を重ねています。熟議の結果を受け、地域づくり委員会では、以前から実施している学校と協働した取組を発展させ、住みやすさMVPの地域を目指し取り組んでいます。

はなももくらぶ

夏休みだよ～！箕小図書室に全員集合

箕曲小の図書室が地域に住む大人と子どもの交流の場になればと考え実施しています。例年「Let's Enjoy English! (英語に親しもう!)」「夏休みの宿題を2時間で完成(書道教室)」「桃の収穫と俳句にチャレンジ」等、様々な企画を実施しています。今年はコロナ禍の短い夏休みでしたが、「簡単マスクづくり」「書道教室」を実施しました。6日間開催で、のべ166名の利用がありました。



みのわたんけんものがたり

「文化の日に箕曲の歴史と文化を知ろう!」と地域づくり委員会子ども育成部が主催で行われ、4年目となります。本年度は、日頃より目にしている風景、耳にしている言葉の由来等を伝承し、改めて地域の良さを知ることが目的に、箕曲中村エリアで実施しました。約40名の参加があり、子どもたちは、「シイタケ園」「下水処理場」の見学、「箕曲中村の歴史」のお話の他、地元の大工さんと一緒に「木工体験」に取り組みました。



箕曲文化祭

小学校を会場に12月の土日に2日間開催で実施しています。そのうち、土曜日は学校を月曜振替の一日授業日とし、児童の舞台発表・親子体験教室を行います。日曜日は、保育園・幼稚園、中学校吹奏楽部、市民センターの活動等の演芸発表や展示、しし神楽等の伝統文化伝承、模擬店、PTAのゲームコーナーなど、子どもから高齢者までが交流する催しとなっています。コロナ禍の今年は、演芸発表は中止し、展示は市民センターで、小学生の体験教室は学校で実施しました。

環境整備作業

運動場や校舎周辺の草刈り、庭木の剪定、生い茂った草木の処理等、地域づくり委員会の環境部と地域振興部が中心となり、夏休み中に小学校の環境整備を行いました。きれいな環境で、子どもたちは元気に2学期を迎えることができました。



★次回テーマは「学校と地域づくり組織等との協働②」です★

コミュニティ・スクールだより

第19号

名張市教育委員会事務局
令和3（2021）年1月26日発行



文部科学大臣表彰受賞！

～南中学校区 地域学校協働活動～

次世代を担う小・中学生が 地域を活性化していく

南中学校区のコミュニティ・スクールの取組が文部科学大臣表彰を受賞しました。南中学校区は、平成27年度から小中一貫教育を実施し、平成29年のコミュニティ・スクール導入以降は、学校運営協議会についても合同で開催し、小・中学校と保護者・地域が連携・協働した活動を進めています。

その取組の一つである「つつじっ子会議」が地域学校協働活動の好事例として評価され、この度の受賞となりました。「つつじっ子会議」では、南中学校区がさらに魅力ある地域になるよう、身近な課題を取り上げ話し合っています。その課題解決に向けて児童・生徒が主体的に企画・発信しています。地域の方々にも入っていただく拡大つつじっ子会議の他、「あいさつ・ありがとうグループ」・「イベント企画・交流グループ」・「つつじっ子新聞発行グループ」・「制作グループ」の4つに分かれ活動しています。



つつじっ子会議 取組の成果

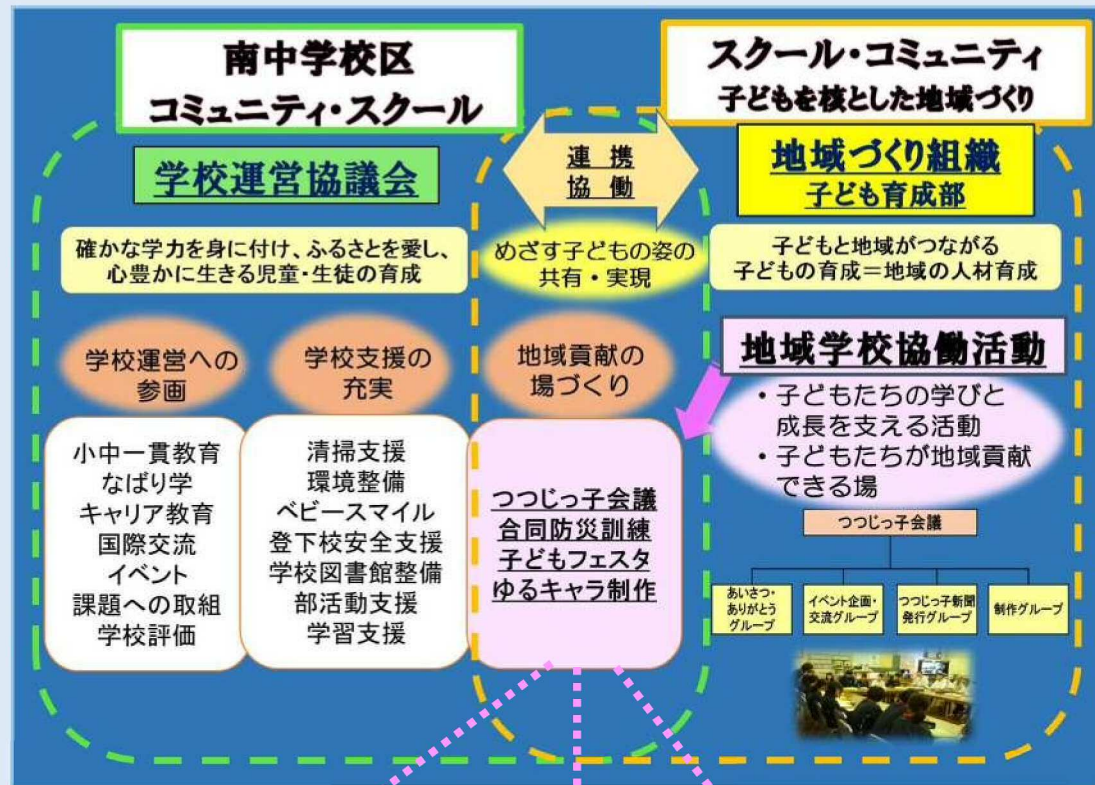
- 子どもと地域の人たちが触れ合う場、多様な年齢層の人が参加できるイベントを企画することにより、イベントに参加する子どもの人数が増えました。（中学生が出店した「サンドイッチ」は、30分で完売。）
- 地域を愛する気持ちを育むキャラクター『えみらる』の制作により、学校行事や地域のイベントが活性化しました。
- 地域づくり組織と学校が連携・協働して防災訓練を実施することにより、地域の防災への取組の中に中学生の活躍の場ができました。
- 話し合われた内容が実現していく姿を見て、つつじっ子会議への参加者が年々増えています。

コミュニティ・スクールから スクール・コミュニティへ part.5

「学校と地域づくり組織等との協働②」

南中学校区・つつじが丘小学校 × 地域づくり組織

南中学校区は、コミュニティ・スクールの取組として進めてきた「地域貢献の場づくり」を『地域学校協働活動』と捉え、地域づくり組織と連携・協働した取組を進めています。



合同防災訓練



子どもフェスタへの参画



ゆるキャラ制作

★次回テーマは「学校と地域づくり組織等との協働③」です★

コミュニティ・スクールだより

第20号

名張市教育委員会事務局
令和3(2021)年3月10日発行

コミュニティ・スクールの 今後の推進・充実に向けて

名張市小中一貫コミュニティ・スクール

推進協議会 開催

2月18日(木)に小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会を開催しました。この協議会は、地域づくり代表者、保護者代表、代表校長、教頭、教職員、事務局職員で構成され、各校の取組の進捗状況や課題を共有し検討する目的で開催しています。

小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの推進状況について中学校区代表校長から報告があり、その後、
文部科学省CSマイスター 木本 育夫さんから、「小中一貫教育の充実と地域学校協働活動の推進に向けて」の講話と名張市の取組へ助言をいただきました。



「コミュニティ・スクール実践集2020」できました

本年度の特色ある活動を集め「コミュニティ・スクール実践集2020」を作成しました。コロナ禍にあっても工夫をしながら実施した各校の様々な事例や、コミュニティ・スクールの取組を子どもを核とした地域づくりであるスクール・コミュニティに発展させていくためのアイデアが満載です。

「コミュニティ・スクール実践集2020」は、名張市公式HPで公開しています。是非ご覧ください。



コミュニティ・スクールから スクール・コミュニティへ

part. 5

「学校と地域づくり組織等との協働③」

北中学校と地域づくり組織との連携協働

11月にコミュニティ・スクールを導入した北中学校は、校区内に薦原・美旗・すずらん台・桔梗が丘と、複数の地域づくり組織を有する中学校です。充実した学校支援体制の構築と地域づくり組織と連携協働した取組を実施するため、三つの部会を設けて、学校運営協議会委員がいずれかの部会に所属しています。本年度は、部会長が中心となって、三つの部会の組織づくりとその取組内容を検討しました。来年度より動き出します！

KITA JHS コミュニティ・スクール組織図

夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成をめざして
— 感動・感謝・そして成長 —

